



みなもと小の児童に 身につけさせたい4つの力

- 1 人を大切にする力
- 2 自らの考えを持つ力
- 3 自分を表現する力
- 4 チャレンジする力

1年間のご協力ありがとうございました

今日で、令和2年度の教育課程が修了しました。1年間、白根源小学校の教育に対して、ご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。

今年度は、コロナウイルス感染症に翻弄された年でした。4月に入学式・新任式が行われず、結局5月24日(日)に入学式、25日(月)に新任式・始業式が行われる異常事態となりました。学校がスタートしてからも、毎日、感染予防に取り組み、今となっては、習慣となりましたが、初めは、児童にも、保護者の皆さんにも大きな負担となったことと思います。しかし、段々と感染対策をきちんと行えば、大丈夫だとわかり、少し安心して学習活動を行うことができました。学校行事も少人数の良さを生かして、工夫して実施することができました。この時ばかりは、一学級の人数が少なく本当に良かったと思えました。

運動会も、種目数を減らして半日開催にしたり、感染リスクを減らすために、保護者の皆さんの入場管理や児童と接触をしない工夫をしたりしました。保護者のみなさんのご協力のおかげで、子ども主体の良い運動会ができたこと大変うれしく思います。

学習発表会も、近隣の学校では中止したところもたくさんありましたが、本校では、児童一人ひとりの間隔を1m以上あけながら、学年の保護者の皆さんだけに我が子の頑張りを観ていただきました。保護者の皆さんに観ていただけたということは、子どもたちにとって大きな励みとなりました。

授業参観も、保護者の皆さんからの授業を観たいというご要望にお応えすることができました。密にならないように、児童との接触を制限する形でしたが、保護者の皆さんにご協力いただきありがとうございました。

来年度は、コロナウイルスがどうなるのか分からない中ではありますが、学校は、保護者の皆さんや地域のみなさんの協力を得て、子どもたちにとって必要な教育をできる限り工夫して実施していこうと考えています。ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

卒業式準備での5年生の活躍

卒業式の前日準備を5年生がとてもよく頑張りました。本校では、伝統的に卒業式の準備を5年生が担当しています。今年も5年生が自分の分担箇所を責任持って行いました。誰かのために仕事をすること、これからリーダーとなる5年生にとっては大切なことです。立派にリーダーとしての一歩を踏み出しました。



感動的な卒業式

3月19日(金)に、令和2年度卒業証書授与式を行いました。今年は、来賓(代表で1名、市産業観光部長 矢崎幹男様)を迎え、保護者(2名まで参加)と在校生(代表で4・5年生)、教職員で16名の卒業生を送り出すことができました。昨年度は、コロナの関係で、卒業生と教職員だけの寂しい式でした。それを思うと、例年とまではいかないけれど、今できる最大限の卒業式を行うことができたと思います。関係の皆様へ感謝いたします。



卒業生 16 名は、このコロナ禍の中、立派に自分達の、自分達らしい、素敵な卒業式を創り楽しんでいきました。卒業生は全員、御勅使中学校へ進学します。式の様子が、3月26日（金）～28日（日）に白根CATVで放送されます。ご覧いただければ幸いです。



各学年の最後のお楽しみ会

今学年最後の1週間で、各学年とも最後のお楽しみ会を行いました。本校は、単級なのでクラス替えはありませんが、一つの学年の区切りとして、最後に、学級の仲間と交流をしました。仲間と楽しむ中で、友達との絆を深めていました。



コープ団地にお住いの本校卒業生 田沢様よりサッカーのゴールネットを寄付していただきました。さっそく、子どもたちがサッカーをして楽しんでいました。大切に使用させていただきます。「母校のために」という思いがありがたいです。

本号が、令和2年度学校だより最終号となります。地域の学校である白根源小学校の様子を行事を中心にお伝えしてまいりました。つたない文章で申し訳ありませんでしたが、お読みいただけたこと感謝申し上げます。来年度も引き続き、学校だよりを発行いたしますので、ぜひ、地域の学校を応援するという意味からも、お読みいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。